

# 栄 さかえ小 ニュースレター

## 視力検査を行いました



4月17日（水）から19日（金）の3日間で視力検査を行いました。昨年度の結果では、本校の裸眼視力1.0未満の児童の割合は全体の37.7%で、学年が上がるにつれて、視力が悪くなる傾向がありました。文部科学省が行っている「学校保健統計調査」によると、全国の子供たちの視力は年々低下しており、1979年度の調査では裸眼視力が1.0未満だった小学生の割合は17.91%だったにもかかわらず、2022年度の調査では37.88%まで増加しており、約40年の間に2倍以上になっていることがわかります。近視は、遺伝的要因と環境要因の両方が関係すると言われていました。しかし、近年になって近視が増えているのは環境による影響が大きいようです。



### 【近視になりやすい生活環境】

- ・外遊びをあまりしない
  - ・睡眠時間が短い
  - ・スマートフォンやゲームを1時間以上続けてやる
  - ・寝る時間が遅い
  - ・近くでものを見ることが多い
- など

環境要因として特に注意したいのは子供たちの姿勢です。学校でも、机に顔を近付けて作業をしている児童を見かけることがあり、声をかけていますが、ご家庭でも机に向かう時の姿勢が悪い場合や寝転びながら作業をしている時には注意をお願いします。

## ラーケーションが始まります

いよいよ今週末から子供たちが楽しみにしていたゴールデンウィークが始まります。前半3日、後半4日に分けての休みとなりますが、ご家族で旅行やレジャーの計画を立てているご家庭もあるのではないのでしょうか。日頃は忙しくて、なかなかお子さんと触れ合う時間がない保護者の方も多いと思いますので、ぜひ、この機会と一緒に会話をしたり、遊んだりしてあげてほしいと思います。

また、すでにご存じの保護者の方もいると思いますが、茨城県では、この4月から「ラーケーション」と呼ばれる制度が導入されました。「ラーケーション」とは、**学習を意味する「ラーニング」と休暇を意味する「バケーション」を掛け合わせたことば**で、**子供が平日に学校を休み、学校以外の場所で体験活動などを行うことで学びを深めてもらう取り組み**です。詳細につきましては、つくば市より文書が届き次第お知らせしますが、保護者が計画を立てた上で**実施1週間前までに申請（実施後は、児童による報告書の作成があります）**すると、**1年間に最大で5日**、欠席にならずに学校を休むことができます。子供たちに豊かな体験の機会を与えていただくためにも、有効にご活用ください。



## 学習の1コマ



5年生の体育では、ボールスローの練習をしていました。昨年度、体育委員会が投力向上のための取組をしてきていたので、その成果が出ると良いのですが。



4年生の算数では、グラフの読み取りについて学習していました。つまづいている友達に対して、自然に寄り添う雰囲気があるのが素晴らしいです。